

こどもまつりに4,000人 家族連れで大にぎわい



人気の「じゃんけん大会」。マウンテンバイクはだれの手!!

十九回目を迎えた「緑の村こどもまつり」が五月四、五日の二日間、鳥居地区の緑の村緑地広場を主会場に開催されました。



ポニーにまたがりニコニコ顔

新緑に包まれた会場ではイベントを楽しんだり、かき氷や焼きそばを食べたり、金魚すくいをしたりと、思い思いに楽しむ親子の歓声が響きわたっていました。

中でも人気はポニーの乗馬体験。子どもたちはポニーにまたがりニコニコ顔。カメラやカメラ付き携帯電話で追いかけるお父さん、お母さんのほほ笑ましい姿もありました。四日はマウンテンバイクやゲームボーイが景品の「じゃんけん大会」や「北緯四〇度ふだいまるごとクイズ大会」で子どもたちは大盛り上がり。

五日には「大声大会」や「もちつき大会」などの楽しいイベントのほか、高さ十五メートルの高所作業車や消防車の乗車体験なども人気を集めました。まつりは二日間とも好天に恵まれ、村内外から約四千人の家族連れでにぎわいました。

6/4〜10は歯の衛生週間 大切です「健康な歯」

「いつまでもすてきな笑顔とかがやく歯」をスローガンに六月四日から十日まで、「歯の衛生週間」が始まります。健康な歯を保つには歯みがきだけでなく、食生活など生活習慣を見直すことも大切です。平成元年度の村でむし歯のある子どもの割合は、三歳児検診で八二・二%と多く、その後もなかなか減らない状況でした。しかし、ここ数年お母さん方のむし歯予防の意識が高まり、むし歯のない子どもが増えてきました。十五年度の三歳児検診では、むし歯のある子どもの割合は三五・三%と平成元年度に比



幼児と保護者対象の歯科教室

べ半減しました。

県の統計では、県内の子どもむし歯は、沿岸や県北地方の農村地域に多いといわれています。その原因には、都市部に比べてむし歯予防に対する意識が低いことや、祖父母にも必要以上におやつをあげてしまっていること、大人でも甘いものが好きな人はむし歯が多く、野菜嫌いで肥満傾向にあり、糖尿病や中性脂肪の高い人が多いようです。これは子どもときの味覚形成が、後々の生活習慣病にも関係しているからです。

村では、平成十四年度から国の補助事業を受け「歯科保健センター健康管理事業」を導入し、歯科保健活動を通じて、村民の皆さんの健康レベルアップを図り、歯科指導などの推進に努めています。健康な人生を送るため、歯みがきの習慣やバランスの良い食生活で、子どもからお年寄りまで、健康な歯をつくりましょう。

普代村国保歯科診療所
普代村歯科保健センター

6/1は人権擁護委員の日

一人で悩まないで! 相談に応じます



六月一日の「人権擁護委員の日」に併せて役場を会場に、人権に関する相談所を開きます。いじめ・体罰・家庭内の問題や近所とのもめごとなど、広い分野で相談に応じます。

皆さんの相談を受ける相談員は、法務大臣から委嘱された緑区の佐藤勲さん(☎3512808)、太田名部の釜

谷壽人さん(☎3512770)、中央区の和村淑子さん(☎3512446)の三人の人権擁護委員です。

相談は無料で、秘密は守られます。むずかしい手続きもありませんので、一人で悩まないで気軽にご相談ください。

◆日時 6月1日、10時〜15時
◆場所 普代村役場内